

昨年度評価(H28年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成 状況	4_28年度 決算①	5_29年度 予算②	6_差 (②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
24	豊明市公共施設適正配置計画策定事業	公共施設に関する市民や利用者の意識調査結果等から策定方針をまとめる	○	2,864	1,950	-914	公共施設適正配置計画については、行政改革推進委員の協力のもと進めていくことに決めた。大変難しい課題であるが、市民の理解を得ながら進めていきたい。特に、学校をはじめ教育委員会所管の施設が多くを占めるので、所管部署が中心となって取り組めるよう支援と連携をしっかりとって進める必要がある。	企画政策課
25	社会保障・税番号制度対応ネットワーク再構築事業	社会保障・税番号制度に対応するためのネットワーク構築をスケジュールどおり進めていく	○	12,370	12,053	-317	マイナンバー制度を今後進めていくために、庁内の情報を3系統に分離して、情報セキュリティを高めることが出来た。	企画政策課
8	地域公共交通活性化協議会負担金事業	公共交通網形成計画策定事業を実施する	○	8,243	7,000	-1,243	高齢化の進むなかで、公共交通のあり方を検討し、地域公共交通網形成計画の策定に向けて協議を行った。	とよあけ創生推進室

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

「2_年度目標」から「6_差」の内容は、各所属の重点事業整理表からの転記です。

昨年度評価(H28年度)							
【主な中施策事業】評価と現状認識							
※	1_事業名	2_進捗状況	3_28年度決算①	4_29年度予算②	5_差(②-①)	6_評価と現状認識	7_所属
25	職員研修事業	A	5,173	6,116	943	窓口サービスについては、さらなる向上を目指して「おもてなしの心」と題して、窓口アンケートを実施し、その結果を受けて各課で話し合い、接客サービスの向上に努めた。一例として、毎朝、職員が、庁内放送であいさつの励行を呼びかける取り組みをスタートした。	秘書広報課
26	ホームページ管理事業	B	0	935	935	市民からの意見をいただくためには、まず、行政情報を市民にわかりやすく提供する必要があります。そのために、市のホームページのリニューアルに取り組みました。愛知県のセキュリティクラウドへの接続を待って、平成29年6月末から新ホームページが稼動。今後は、新しい情報を市民の皆様にお届けできるように運用していくことが課題となります。	
22	パブリックコメント・eモニター事業(広聴事業)	A	24	150	126	広聴事業である市長への手紙、eメール、ファックス等件数的には、昨年並みとなっている。新たな手法も考えていく必要がありeモニター制度を導入することが出来た。今後の伸びを期待したい。	企画政策課
24	広域・民間連携推進事業	A	20	10	-10	尾三連携では職員の相互派遣、出納室が事務局となった豊明金融懇談会の立ち上げ、全国初となる公的保険外サービスに関する連携など、各種連携を進めることが出来た。	
27	総合計画進捗管理事務	A	290	1,484	1,194	第5次総合計画の推進・進捗管理を目的として、総合計画マネジメントとして行政評価制度などの構築を行った。平成29年度からの実施に向けて制度設計と準備を行ったため、業務改善提案制度も平成29年度から新たな制度でスタートすることとした。	
27	行政評価推進事務	A	0	0	0		
25	庁内機器及びシステム導入・運用管理事業	A	75,173	11,100	-64,073	各種施設予約や申請等がICTを用いて容易に手続きできるようになってきている。今後は、マイナンバーカードの普及により、一層の申請の簡略化ができると思われる。ただし、電子化が進めば、ネットワークの強靱化が必要となることから、ネットワークの分離等を行い対策をしている。今後もこの点を十分に留意して取り組んでいく必要がある。	
25	マイナンバー法関係事務	A	12,370	12,053	-317		
26	地域情報化プラン策定事業	B	0	0	0	地域情報化プラン策定推進事業は、セキュリティ確保のためのネットワークの分離作業等を行ったため、方向性や手法も含め十分な取り組みを行えなかった。スマートフォン等の普及により、情報の受け手側のインフラ整備は進んでおり、現段階における行政の役割は、オープンデータによる行政情報としての公開となっている。そのようなことから、当面は地域情報化プランの策定は休止していきたい。	
23	予算編成事務	A	6,725	6,122	-603	世代や性別などで不公平感のない予算配分はもちろんのこととして、「未来への架け橋予算」として、現役世代のみならず、未来の世代も見据えての予算編成を行っている。ただし、扶助費の増額や公共施設の老朽化等により、多額の予算が必要となるため、継続的に行っている予算の見直し等を行う必要がある。平成28年度は予算作成にあたり、各部内での予算査定を実施し、成果を得た。	財政課
24	財政運営・地方債事務	A	2,878	2,357	-521	現在は、100億円を超える税収であるが、今後は、少子高齢化のため税収の伸び悩みが懸念されるため、市街地整備や学校教育の充実等、将来の税収増につながる施策を進めている。また、扶助費の増額や公共施設の老朽化に備えて、基金の管理や地方債の発行等を将来を見据えて計画的に行う財政運営を行っている。	
24	工事検査事業	B	0	11	11	市発注の工事が適正に実施されていることを検査によって確保し、品質の高い成果をあげる必要がある。また、施工者に対しても、技術の水準向上が図られることになる。今後は、工事の検査内容等を更に向上する必要がある。そのため、人的にも技術の向上を図る必要がある。	

8	地域公共交通活性化事業	A	57,123	62,984	5,861	ひまわりバスの利便性向上のための路線再編に向けて、公共交通の全体計画である公共交通網形成計画策定のための基礎調査を実施した。また、地域公共交通会議を開催し、公共交通事業者、市内老人クラブや女性の会、子ども会、心身障害者(児)福祉団体連合会の代表者の方の意見を伺った。さらに、地域ニーズ掘り起こしのためのワークショップも開催。今後は、公共交通網形成計画を、地域の方に説明していく。また、近隣市町への外出意向も多いため、近隣市町との公共交通の接続等も含めた整備を検討していく。	とよあけ創生 推進室
38	小中学校統合検討事業	A	-	-	-	市立双峰小学校と唐竹小学校は、二村台地区にあり、唐竹小学校は、1学年1クラス、双峰小学校は1学年2クラス(一部1クラス)の小規模校となっています。そのため、両校児童が良好な教育環境で質の高い教育を受けることができるには、どうすべきかを委員会を設置して検討した。5回の委員会に加え、両校保護者、両校の校区に住む未就学の子どもの保護者との意見交換会やアンケートを実施し、多くの意見をいただくことができた。また、学校の先生にもアンケートを実施した。	
24	ふるさと豊明応援寄附推進事業	A	16,140	17,098	958	ふるさと応援寄附金により、豊明市に魅力を感じていただき、行政に興味を持っていただくことを目標としている。平成28年度は目標額を上回る寄附をいただくことが出来た。今後も、体験型のお礼の品等を検討して、多くの寄附金をいただけるようにしていきたい。	

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

「2_進捗状況」から「5_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。